

平成 29 年度 大阪 2 部女子 適用規則

採点規則 2017 年版を以下のように部分変更して、大阪高体連 2 部適用規則とする。

【演技の採点】

D スコアー（構成）

| | |
|-------------|--|
| 難度点 (DV) | <p>跳馬・・・2017 年版採点規則の難度点に 1.00 点をプラスする。</p> <p>段違い平行棒・・・終末技を含む最大 8 つの高い順からの難度を数える。</p> <p>平均台・・・終末技を含む最大 8 つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>ゆか・・・最大 8 つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>同一技の難度は演技の中で 1 回のみ承認される。</p> |
| 構成要求 (CR) | 4 つの構成要求 (各 0.5×4) 最大で 2.00 |
| 加点 | <p>段違い平行棒、平均台、ゆかの演技において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演技に対して最大で 0.50 を与える (一部分または演技全体の流れに対して評価する) (0.1/0.2/0.3/0.4/0.5) *美しさ (体線・開脚度など) *雄大さ (宙返りの高さ・振幅の大きさなど) <p>・種目特有の加点 (+0.5) <各種目の項目に記載></p> |

E スコアー（実施）

| |
|--------------------------|
| 10.00 から、実施と芸術性の減点をおこなう。 |
|--------------------------|

短い演技

| | |
|--------------------------|-------|
| 短い演技の場合、E スコアの最高点は以下の通り。 | |
| 6 技以上の実施 | 10.00 |
| 5 技の実施 | 8.00 |
| 4 技の実施 | 6.00 |
| 3 技の実施 | 5.00 |
| 2 技の実施 | 4.00 |
| 1 技の実施 | 3.00 |

【各種目の規則】

| | | | | |
|----|---|--------------|------------------|--------------|
| 跳馬 | 跳躍台は 新型跳馬 (高さ 120 c m) | | | |
| | 開脚跳び・閉脚跳び・台上前転の D スコアは 1.00 とする。E スコアは 5.00 から減点する。 | | | |
| | 2 回の跳躍を実施し、良いほうのスコアを有効点とする。 | | | |
| | 禁止技…宙返りを伴う跳躍技 | | | |
| | ※種目特有な実施減点の追加 | 支持局面 | ・支持が長い | -0.1/0.3/0.5 |
| | 第 2 空中局面 | ・高さ | -0.1/0.3/0.5/0.8 | |
| | | ・距離 | -0.1/0.3/0.5 | |
| | | ・ダイナミックさに欠ける | -0.1/0.3/0.5 | |

| | 構成要求 (CR) | 種目特有の減点 | A難度を認められる技 | 備考 |
|----------------------------|---|--|--|---|
| 段 違 い 平 行 棒 | ① 低棒け上がり ② 高棒け上がり ③ 棒に近い回転系の技 ④ ③とは異なる回転系の技 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。 | 「低棒から高棒 へジャンプして 移動する-0.5」 を削除する | ・さかあがり (開始技) ・そんきよ ・高棒～ 棒下振り出し下り | 禁止技… C難度以上の技 (倒立局面を逸脱する ことによって難度が変わ る技は禁止技としない) (例) 後方浮支持回転倒立 |
| 平 均 台 | ① 前後開脚 (180度) の跳躍技を 含むダンス系の技の組み合わ せ ② 片足上のターン (360度以上) ③ 前方/側方のアクロバット系 の技 (前転を除く) ④ 後方のアクロバット系の技 (後転を除く) 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。 | 変更なし | ・さかあがり (開始技) ・両足踏切～両足また は片足立ち (開始技) ・伸身とび ・かかえ込みとび ・ ねことび ・前転 ・後転 ・前転とび下り ・側転とび下り ・片足踏み切り 側方伸身宙返り下り ・片足踏み切り 前方伸身宙返り下り | ・片足踏み切り、とびあが り、片足立ち (開始技) は台を手で支持しても まい。 禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く) |
| ゆ か | ① 180度の前後/左右開脚また は左右開脚屈身の跳躍技を1 つは含む2つのリフまたはホ プの直接または間接の組み合 わせでの移動 ② 片足上のターン(360度以上) ③ 前方/側方の空中局面を伴う アクロバット系の技 ④ 後方の空中局面を伴うアクロ バット系の技 種目特有の加点 以下の実施があれば、+0.5 の 加点を与える。 3つの技からなるアクロバット 系シリーズ(3つとも空中局面を 持つアクロバット系の技であること) | 変更なし | ・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・ねことび ・かかえ込みとび | 禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く) |

- 注 ①A難度を認められる技も構成要求 (CR) に使用できる。ただし、平均台の前転、後転は使用できない。
②段違い平行棒のさかあがりは開始技でのみ難度を認める。(開始技で、低棒け上がりを行ったが難度が承認されなかった。そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりの難度は認める。)
③ゆかの空中局面をともなうアクロバット系の技に、前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。